

平成25年度 上越市学校教育研究会 国語部の活動報告

部長 藤田 由江 副部長 平山 良和
部員数 小45名 中28名 特支1名 計74名

1 研究主題 「論理的な思考力を高める国語科授業の 創造(2年次)」

2 主題設定の意図

学習指導要領では、各教科等における言語活動の充実を求めている。言語は、知的活動の基盤であるとともに、コミュニケーションや感性・情緒の基盤でもあり、言語に関する能力を高めることが一層重要となっている。このことを受け、昨年度から、論理的な思考力を高める授業づくりに注目して上記の研究主題を掲げ、研究を進めている。

3 研究の概要

11月13日(水)、上越市立教育センターとの共催で研究会を実施した。小学校部会、中学校部会に分かれ、それぞれの会場でスーパーティーチャーの卓越した授業を参観し、協議を行った。この研究会を中核として、研究の成果と課題をまとめた。

4 研究の実際(小学校の実践から)

授業者：上越市立直江津南小学校 清水 登紀子 教諭

指導者：上越市立柿崎小学校長 山下 優子 様

(1) 単元について

○単元名 第6学年 「読み取ったこと、感じたことを表現しよう」



○単元の見どころ

- ・絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理する。
- ・事実と考えなどを区別するとともに、見た絵の様子を簡単に書いたり、詳しく書いたりする。

○単元の構成

- ・「風神雷神図」(非連続型テキスト)を見て、「事実」と「自分の考え・感想」とに分類しながら、気付いたことを交流し合う。

- ・気付いたことから、ストーリーの構成を考え、物語を創作する。

○成果

- ・非連続型テキストをもとにストーリーを創作するという、提案性の高い授業であった。
- ・非連続型テキストを教材とした場合の「論理的な思考力」を高める授業の在り方について、授業者の提案や協議、指導により、次のようなことが明らかになった。

「論理的な思考力」を育てるために、「事実」と「考え・感想」を明確にさせることが大切である。「どうしてそう思ったか」という理由を考えると思考力が働く。さらにイメージをもとにストーリーを書くことで、感想やイメージを論理的に結び付け、構成するという思考力が育まれる。

5 成果と課題

今年度は、スーパーティーチャーの卓越した授業を参観し、協議することを中核に研究を深めた。研究主題のもと、小学校では非連続型テキストの読み取り、中学校(授業者 柿崎中学校 西脇 明美 教諭)では社説についての主張文作成という提案性の高い授業が公開された。いずれも、子どもにどのような国語力を付けたいのか、どのような思考力を働かせたいのかというねらいが明確であり、かつ、ねらい達成のための工夫が十分になされていた。

2年間の研究の成果を受けて、今後は「言語活動の充実」の視点から研究を進めることも検討していく。